

電子ペーパー/フレキシブル技術部会 2024年度活動報告

【部会委員】 13名 (2024/1/24 現在)

主査(新)：吉田 学(産業技術総合研究所)，副主査：前田 秀一(東海大学)

委員：面谷 信(東京電機大学)，小林 範久(千葉大学)，都甲 康夫(スタンレー電気)，
堀田 吉彦，森川 尚(富士フイルム)，松本 真二(リコー)，野添耕二(FPTコンサルティングジャパン)、
駒崎友亮(産総研) ※山本真也(富士フイルム 森川さんと交代) ※は新メンバー

アドバイザー：北村 孝司(千葉大学)，鈴木 明

【部会開催実績 2024 年】 11回

- 開催日： 1/24, 2/27, 3/26, 4/24, 5/28, 6/27, 7/23, ※8/26(合宿)，9/24, 11/26, 12/26
8/26、12/28を除きオンライン開催
- 議題： 電子ペーパー/フレキシブル技術研究会の企画運営(開催方法、開催内容、進捗管理など)
ICJ2024 オーガナイズドセッション
部会課題の討議
部会活性化に関する討議

※は部会合宿・研究室訪問(OIST 嘉部研究室 有機半導体発光材料の研究開発について見学・討論)

【電子ペーパー/フレキシブル技術研究会(2024年度 第1回 技術研究会(通算第159回))】

開催日時： 2024年10月30日(水) 10:00~17:00 (受付開始 9:30)

会場： 東京科学大 蔵前会館 ロイヤルブルーホール

開催方法： 会場とオンライン(Zoom meeting)のハイブリッド方式

『電子ペーパー・フレキシブル技術とグリーンテクノロジーの最新動向』

今年度は電子ペーパー・フレキシブルアプリケーションに加え、グリーンテクノロジーに寄与する各種技術分野に範囲を広げ、最新の技術動向について講演をお願いしました。今回のプログラムは、ユーザーインターフェースとして表示デバイスと組み合わせて使うことのできる触覚ディスプレイ技術、および超薄型二次電池、有機熱電素子/熱化学電池、イオン液体等の最新グリーンテクノロジー、さらに液晶半導体関連等のフレキシブルエレクトロニクス技術などが取り上げられました。また、電子ペーパーやIoT技術の最新動向を部会から報告されました。研究会では、各講演に関して活発な議論が交わされました。

【プログラム】

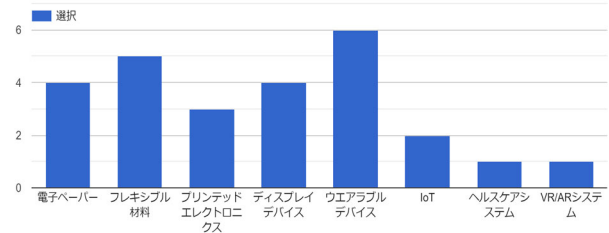
時間	タイトル	所属	講演者
9:55-10:00	開会の挨拶		
10:00-10:40	電子ペーパーの活用に向けたIoT機器の将来像	富士フイルムビジネスイノベーション	森川尚
10:40-11:20	触覚ポスター：プリンタブルな大型静電触覚ディスプレイ	国立大学法人 筑波大学	橋本悠希
11:20-12:00	液晶性有機半導体を用いたフレキシブル有機電子デバイス	国立大学法人 東京科学大学	飯野裕明
12:00-13:00	(昼休み)		
13:00-14:40	<デモ展示> 触覚ポスター、超薄型二次電池、フレキシブル有機電子デバイス、有機熱電素子/熱化学電池(現地のみ。今年は配信の予定はありません。)		
14:40-15:20	アルミニウム金属負極を用いた二次電池	国立大学法人 千葉大学	津田哲哉
15:20-16:00	超薄型・小型リチウムイオン二次電池EnerCera®で実現するIoT社会	日本ガイシ株式会社	藤原琢士
16:00-16:40	IoTセンサー用電源として利用できる有機熱電素子や熱化学電池	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	向田雅一
16:40-16:45	閉会の挨拶		

研究会参加人数(講演者・部会委員を含む)は36名です。新たに、2学会から協賛いただき、参加人数の微増が見られました。研究会後のアンケートでは、参加者の注目技術分野は電子ペーパー、ウェアラブルデバイスなどであり、研究会が役立つとの回答を得ました。



研究会会場の様子

6. 注目している技術分野（複数回答）



アンケート結果の一部（注目している技術分野）

【2024 年度活動予定】

1. 技術部会定例会（10 回/年）
研究会企画運営、技術情報交換、部会課題の討議
2. 2025 年度電子ペーパー/フレキシブル技術研究会の開催（2025/11 予定）
3. 部会課題討議
4. 合宿・研究室訪問（1 回/年）
5. 年末シンポジウム講演